

**令和7年度新潟県特別支援教育研究大会新潟大会
第65回全日本特別支援教育研究連盟全国大会プレ大会
(8月1日)**

【開会式】

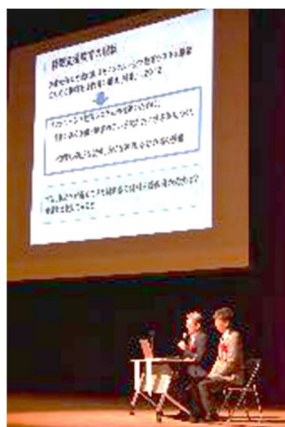
梅澤 健一 大会副実行委員長からの「開式の言葉」から会が始まりました。
後藤 和広 大会実行委員長の「あいさつ」の後、県教育長 太田 勇二 様、
市教育長 夏目 義久 様からの「ご祝辞」をいただきました。

梅澤 副実行委員長からの「来賓紹介」後、熊倉 隆司 大会副実行委員長
からの「閉式の言葉」で、滞りなく終えることができました。



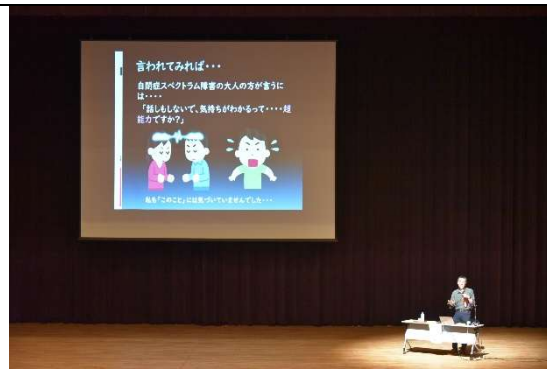
【全体会】

全体会では、はじめに「全体指導」がありました。講師として、
新潟県教育庁義務教育課 特別支援教育推進室 指導主事 齋藤大輔 様
新潟市教育委員会 特別支援教育課 総括指導主事 金田良哉 様
のお二人から、ご指導をしていただきました。



【講演】

講演会では、新潟大学 教育学部 教授 有川 宏幸 様から、「ズレ（相違）から生み出す未来の可能性―社会・学校・エトセトラ―」の演題で、ご講演をしていただきました。



【分科会】

午後は、5つの分科会を設置しました。それぞれの分科会では、発表者からの提案を受けて、参加者がグループになってファシリテーション形式で、グループの意見をまとめていました。

どの分科会でも、活発な話し合いが繰り広げられていました。



今回の研究会では、400人を超える方々に参加していただき、研究会を終えることができました。来年度の全国大会に向けて、実り多い一日となりました。

来年10月に開催予定の全国大会でも、多くの方々のご参加をお待ちしております。

